

県外新規高卒者向けの求人活動を 支援する情報の提供について

～青森県及び九州地方の

高等学校巡回訪問調査結果から～

平成19年7月6日(金)

産業労働部労政担当就業促進課
若年者・地域雇用対策グループ

担当者 山戸・水上

内線電話 3434・3435
(ダイヤルイン)

052 954-6366

本県では、県外から若年労働力の確保を図るため、青森県及び九州地方の高等学校を訪問して、知事の就職期待メッセージ、愛知県の紹介、愛知ブランド認定企業の紹介等により、各校進路指導部に愛知県企業への就職希望を働きかけて来ました。

訪問を歓迎されるとともに、最近の就職状況のヒアリングを行うなかで、現地校の進路指導部の考え方など、貴重な情報を得ることができました。ヒアリング結果から、新規に求人活動に取り組む要点としては下記のとおりですが、詳細は別紙のとおりです。

また、各校ごとの就職に関する情報を県ホームページ（就業促進課）で順次追加していく予定ですので、ぜひご活用ください。

記

青森県の場合

東京より西の地域は馴染みが薄いため、愛知・名古屋の魅力（大都市圏だが住みやすい・交通の便が良く関西圏・東京圏とも近い等）を十分PRしながら、意外に遠くて近いエリアであることをアピールする必要があります。

愛知県＝モノづくり県の認識はある程度浸透しているので、会社の独自・高度な技術力をしっかり伝えることで関心が高まると考えられます。

「東北は東京方面が当然」の志向を変化させるよう、中長期計画の粘り強い求人取組みで、就職の新しい流れを作り出すことが重要です。

(ハローワーク業務統計：本県への就職状況 17年3月卒39人、18年同57人、19年同77人～県雇用開発協会まとめ～)

九州地方の場合

長い期間にわたって就職実績のある企業が豊富なため、どうしても実績のある先輩の多い企業への就職が多い。このことは、確かな企業が多い地域の証明、とアピールできます。

新規求人企業のうちで魅力ある企業は、逆に学校側が企業訪問して確認し、生徒に企業内容がよく伝わります。

中京圏への送り出しは、長く太い大きな流れとなっていますが、さらに太くするよう求人活動を積極的に行いましょう。

訪問した各高等学校の状況については、以下の就業促進課ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.aichi.jp/shugyo/tiiki/>

[ここをクリック](#)

* 19年度新規高卒者採用に係る企業の高等学校訪問開始日程等

全国統一的に平成19年7月1日から、企業は求人票、募集要項等を持参して学校訪問できる。企業への学校推薦開始は9月5日以降（沖縄県は早い）、企業の採用選考開始は9月16日以降です。

(別紙)

聞取り調査結果

	聞取り事項	企業の対応として望まれること
青森県の高等学校	ア) 19年3月卒の就職者数	(1) 初めての会社は、極力学校訪問すること (2) 訪問して先生に、技術力等特長をアピールし、(小さいが)すごいことをやっている会社と印象づける。愛知県だけこんな会社がある、と生徒に伝える。モノづくり好きが集まる工業高校では特に有効と思われる (3) 訪問時期は7月中の早期がベストだが、今年は求人票提出のみとし、訪問は落ち着いた10月過ぎでもよく、求人の少ない県内から県外に希望変更の生徒が出るタイミングでもあるが、来年以降に向けた長期取組みの始まりと考える
	イ) 18年度県外求人企業数	(4) 個室の寮が完備していることが第一条件という学校・父兄が多い (5) 育てる、人を大きくするという、人材育成の姿勢を、先生にアピールする (6) いずれの学校も夏休み中の職場訪問実施を重要視する(就職後のミスマッチ防止)ので、必ず実施する姿勢が大事
	ウ) 就職希望職種	(7) 東京等関東圏へ就職するのが自然の流れとなっている生徒の気持ちを、愛知県に向かわせるためには、産業の確かさに加えて、元気さ、明るさ、楽しさ、交通の便利さ(青森は空路で短時間、東京、大阪、京都・奈良、伊勢も近距離など)をアピールする必要がある。市販の愛知・名古屋雑誌持参がわかりやすい。
	エ) 愛知県企業の求人状況について	(1) 初めての会社は、極力学校訪問すること (2) 求人票送付の場合でも、会社概要、仕事内容のわかる資料も送ること
九州地方の高等学校	オ) 7月~8月中の学校訪問について	(3) 実績企業中心の就職となっているが、新規の求人企業でも魅力的な企業には、学校側から企業訪問がある可能性あり。
	カ) 愛知県のイメージ	(4) 個室付きの寮があることに関心が高い。 (5) 中京圏と鹿児島県の学校は、就職面で長く太い大きな流れがあるが、将来を考えてさらに太い流れにするため、長年の信頼関係を背景に、全国一の元気県をキャッチフレーズに、愛知県企業は求人拡大、積極的な新規の求人活動を展開することが可能なタイミングと思われる。